

令和5年度通常総会

日時：令和5年5月25日(木)
15:30分～
会場：鹿児島サンロイヤルホテル



発行者

発行日 令和5年1月1日
鹿児島県環境整備事業協同組合
理事長 宮地光弘
鹿児島市宇宿2丁目9-9
URL http://kakankyo.net

新年あけましておめでとうございます。組合員、関係者の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より組合活動にご指導、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。昨年五月の通常総会で理事長職を拝命し、半年が過ぎました。が、新年を迎えて改めてその重責に担当決意を新たにすることになりました。

鳥越前理事長には、二十八年の長きに渡り鹿環協をけん引していただき中、組合員や地域自治体等と連携した生活環境の保全・人材育成を重んじた業界発展など、組合並びに組合員一般般廃棄物処理業界の発展に多大な貢献をなされたことに改めて深く感謝申し上げます。また、鳥越前理事長が国民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上等に大きく貢献された功績により、令和4年春、旭日小綬章の栄に浴されました。この栄えある受章は、ご本人はもとより私共関係者にとりましても、誠にご同慶の至ります。

さて、昨年も新型コロナ

ウイルス感染症が引き続き猛威を振るい、また、我が国経済の先行きについても、ウィズコロナの下、各種施策の効果により景気が持ち直していくことが期待できます。

また、日頃より組合活動にご指導、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。昨年五月の通常総会で理事長職を拝命し、半年が過ぎました。が、新年を迎えて改めてその重責に担当決意を新たにすることになりました。

こうした中、国において各種の効果的な事業が展開され、原油價格・物価高騰の影響を受けている我々事業者や生活者の負担軽減が図られ、県内経済が早期に回復することを期待しているところです。

本組合では、将来を見据えた「活動方針」に掲げる強

令和五年 新春を迎えて 理事長 宮地光弘



▲宮地理事長

令和四年度 事業主研修会



▲環境保全協会 牧事務局長

もしも情報が足りてないとか、疑問を感じておられない方のこの一年のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

あらためて、保守点検・清掃・汲み取り業務の原点振り返り、歴史を知ることで、運営を推進するため令和四年度末までに「広域化・共同化計画」を策定するなどの説明があつた。また、環境省の新しいメニューや、県民から講演Iでは「鹿児島県の生活排水対策について」というテーマで、講師の鹿児島県土木部生活排水対策室技術補佐の倉園久司氏より、本県の生活排水対策行政を取り巻く話題について現状報告があつた。

講演IIでは「浄化槽維持管理に関する課題について」というテーマで、鹿児島県環境保全協会事務局長の牧浩一氏が講演された。まず、効率化検査「対応レベル0」への対応について、行政指導が強化されたことで、連絡票の記載例の紹介、維持管理システム更新時のお願い・提案が行われた。また、住民の浄化槽維持換促進(それに係る補助状況)の説明、持続可能な事業運営を推進するための令和四年度末までに「広域化・共同化計画」を策定するなどの説明があつた。また、環境省の新しいメニューの紹介や、県民から講演が行われた。また、住民の浄化槽維持管理費用が高齢世帯やひとり親世帯等では大きな負担になつていることから、維持管理費用への補助制度などを紹介された。かごしま



▲県生活排水対策室 倉園技術補佐



▲薩南浄水管理センター研究発表



▲大口・伊佐清掃社研究発表



▲四国化成工業 堀泰弘氏



▲日本環境整備教育センター 濱中俊輔氏

研究発表は、まず有限会社大口・伊佐清掃社の湯田涼太氏が『消毒薬の消費量に関する調査』というテーマで研究発表を行った。消毒薬は浄化槽の維持管理料金のなかで大きなウエートを占めており、昨今の原油価額高騰や諸資材の値上げの影響で経費を押し上げてきている。そうした状況下で消毒薬の過剰消費をどう抑えるかという非常に興味深い内容であつた。

次に急遽ではあつたが協業組合薩南浄水管理センターの徳永博光氏より『下水道整備による浄化槽維持管理業への影響』というテーマで発表が行われ改めて下水道事業が与える業界への影響がいかに大きいと興味深い内容であつた。

次に急遽ではあつたが協業組合薩南浄水管理センターの徳永博光氏より『下水道整備による浄化槽維持管理業への影響』というテーマで発表が行われ改めて下水道事業が与える業界への影響がいかに大きいと興味深い内容であつた。

次に急遽ではあつたが協業組合薩南浄水管理センターの徳永博光氏より『下水道整備による浄化槽維持管理業への影響』というテーマで発表が行われ改めて下水道事業が与える業界への影響がいかに大きいと興味深い内容であつた。

研究発表は、まず有限会社大口・伊佐清掃社の湯田涼太氏が『消毒薬の消費量に関する調査』というテーマで研究発表を行った。消毒薬は浄化槽の維持管理料金のなかで大きなウエートを占めており、昨今の原油価額高騰や諸資材の値上げの影響で経費を押し上げてきている。そうした状況下で消毒薬の過剰消費をどう抑えるかという非常に興味深い内容であつた。

次に急遽ではあつたが協業組合薩南浄水管理センターの徳永博光氏より『下水道整備による浄化槽維持管理業への影響』というテーマで発表が行われ改めて下水道事業が与える業界への影響がいかに大きいと興味深い内容であつた。

◆令和四年度 浄化槽維持管理技術研修会

作業面、燃料消費量、コスト等で効率化を図ることが可能なとの発表であった。

令和四年度第十八回 全国環境連全国大会

で、東洋大学市環境デザイン学科教授 山崎宏史氏より「二〇五〇年カーボンニュートラルにおける温暖化対策」という演題で講演が同会場とZoOmによるハイブリット開催にて行われた。全国



▲表彰を受ける白坂氏

◆環境大臣表彰

最後に、四国化成工業株式会社の堀泰弘氏より『浄化槽用殺菌・消毒剤について』の講演があつた。塩素剤の種類・殺菌・消毒剤の殺菌力・水質検査、安全な取り扱いについての留意点など、いろいろな観点から説明していただいた。

特に、大腸菌の殺菌は我々の業務のなかで、最も重要な事項であり非常に濃い内容の講演となつた。

また、すべての研究発表、講演の後、質問なども相次ぎ非常に有意義な技術研修会となつた。

最後に、現在進行形の研究内容として浄化槽汚泥濃縮車に関する研究の紹介が行われた。人口減少や汚泥処理施設の老朽化による施設の統合・広域化が考えられるなかで、汚泥濃縮車を活用することにより技術、浄化槽の性能評価試験と統いた。最後に現行の規格の研究内容として浄化槽汚泥濃縮車に関する研究の紹介が行われた。人口減少や汚泥処理施設の老朽化による施設の統合・広域化が考えられるなかで、汚泥濃縮車を活用することにより

研究に先立ち、環境大臣表彰が行われ、有阿久根清掃社の白坂裕一様が受賞されました。白坂氏は、長年にわたる浄化槽関係事業功労者としての表彰であり、鹿環協副理事長としても組合の運営や後進の指導に尽力されました。白坂氏の今回の表彰を心からお喜び申し上げるとともに、今後益々のご活躍を期待申し上げます。

講演は、二部制で行われ、まず、環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課課長 筒井誠二氏から「廃棄物・リサイクル行政の最近の動向について」という演題で講演を行つてくださいました。次に、公益財團法人 日本環境整備教育センター顧問 国安克彦氏から「持続性のある生活排水処理施設整備に向けて」という演題で講演を行つてくださいました。一般廃棄物処理業について、行政と民間のそれぞれの目標・考え方を知る貴重な講演であつた。

また、翌日には、長野県環境整備事業協同組合の主催懇親会では、河野会長から次回開催県である熊本県環境整備事業協同組合の篠崎武理事長に団体旗の引継ぎが行われ、コロナ禍の収束でより密な全国大会になることを祈る次第であつた。

また、翌日には、長野県環

境整備事業協同組合の主催懇親会では、河野会長から次回開催県である熊本県環境整備事業協同組合の篠崎武理事長に団体旗の引継ぎが行われ、コロナ禍の収束でより密な全国大会になることを祈る次第であつた。



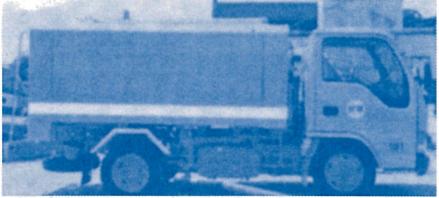
▲全国環境連 河野正美会長



▲全国大会の様子

新発売

エコパネル



株式会社 モリタエコノス 鹿児島営業所
〒890-0033 鹿児島市西別府町3010番22号 TEL 099-282-8352(代) FAX 099-282-8357



▲研修会の様子(講師:上野知子氏)



▲研修会の様子



▲研修会の様子



▲研修会の様子



▲浄化槽の維持管理研修会の様子

鹿環協かわら版

十月二十八日、姶良市加音ホールにてプロック研修会を開催した。コロナ禍での開催もあり、ソーシャルディスタンスの確保を最優先に二十五名の出席者のもと研修会が行われた。八丸プロック長の挨拶後、講師に株式会社南日本放送コンテンツ局音声メディア部兼アナウンス部上野知子氏を迎えて『楽しいコミュニケーション』のテーマで講演された。

まず、人前で話をする際は何よりも呼吸が重要であり、実際にアナウンサーが

使用している発音、活舌が良くなる一覧表をみんなで

呼吸を意識しながら読み上げを行つた。次に、会話は言葉のキャッチボールであ

り、短いように思う一分でもかなりの内容の会話が出来ること、体での表現で相

当の情報が得られることで感情が表現されることなど、コミュニケーション全般にわたり講演をいただいた。

最後に鹿児島弁の多様性についても話をしていたとき普段人前で話す機会が多い私達には大変有意義な

講演となつた。

十月二十八日、姶良市加音ホールにてプロック研修会を開催した。コロナ禍での開催もあり、ソーシャルディスタンスの確保を最優先に二十五名の出席者のもと研修会が行われた。八丸プロック長の挨拶後、講師に株式会社南日本放送コンテンツ局音声メディア部兼アナウンス部上野知子氏を迎えて『楽しいコミュニケーション』のテーマで講演された。

まず、人前で話をする際は何よりも呼吸が重要であり、実際にアナウンサーが

使用している発音、活舌が良くなる一覧表をみんなで

呼吸を意識しながら読み上げを行つた。次に、会話は言葉のキャッチボールであ

り、短いように思う一分でもかなりの内容の会話が出来ること、体での表現で相

当の情報が得られることで感情が表現されることなど、コミュニケーション全般にわたり講演をいただいた。

最後に鹿児島弁の多様性についても話をしていたとき普段人前で話す機会が多い私達には大変有意義な

講演となつた。

錦江プロック研修会

北薩プロック研修会

大隅プロック研修会

南薩・熊毛プロック研修会

大島プロック研修会

十月二十一日、出水市の鶴丸会館にて、北薩プロック研修会を開催した。

西池プロック長の挨拶の後、鹿児島県環境保全協会検査部長木佐貫隆氏を講師に招き、「効率化検査の結果から見

る保守点検の留意点につい

て」という議題で、浄化槽設置時の不具合事例の紹介、型別BOD超過率、住民の浄化槽維持管理費用負担における課題、間欠タイマーを利用したサカマキガイ対策などについて説明をいただいた。

令和二年から三年までの二か年における型式別の対応レベル0の結果と不具合内容、槽内水温と放流水量などの説明があつた。

検査結果をもとに、型式別に状況をまとめあり、今後管理士が行う保守点検の留意点について」という議題で、型式別の不具合内容の紹介と対応レベルごとに対処方法を事例の写真を示しながら説明を受けるとともに、行政指導対象の改善状況などについて講演を行つた。

また、十一月四日、ホテル

パームロイヤル那覇において、大島北・南プロック合

同でビジネス版LINEの「LINE WORKS」の活用について研修を行つた。良好なコミュニケーションを図るために業務の効率化に向けた情報の共有・周知、業務管理、ファイ

ル管理等について学んだ。

十月二十四日、「大隅プロック研修会」が、鹿屋市さつき苑にて開催された。

まず、公益財団法人鹿児

島県環境保全協会・事務局長・牧浩一氏より「浄化槽整備に関する課題について」という議題で、浄化槽設置時の不具合事例の紹介、型別BOD超過率、住民の浄化槽維持管理費用負担における課題、間欠タイマーを利用したサカマキガイ対策などについて説明をいただいた。

令和二年から三年までの二か年における型式別の対応レベル0の結果と不具合内容、槽内水温と放流水量などの説明があつた。

検査結果をもとに、型式別に状況をまとめあり、今後管理士が行う保守点検の留意点について」という議題で、型式別の不具合内容の紹介と対応レベルごとに対処方法を事例の写真を示しながら説明を受けるとともに、行政指導対象の改善状況などについて講演を行つた。

また、十一月四日、ホテル

パームロイヤル那覇において、大島北・南プロック合

同でビジネス版LINEの「LINE WORKS」の活用について研修を行つた。良好なコミュニケーションを図るために業務の効率化に向けた情報の共有・周知、業務管理、ファイ

ル管理等について学んだ。

九月二十四日、鹿児島県環境保全協会大研修室にて「南薩・熊毛プロック研修会を開催した。

まず、公益財団法人鹿児

島県環境保全協会・事務局長・牧浩一氏より「浄化槽整備に関する課題について」という議題で、浄化槽設置時の不具合事例の紹介、型別BOD超過率、住民の浄化槽維持管理費用負担における課題、間欠タイマーを利用したサカマキガイ対策などについて説明をいただいた。

続いて、同協会の検査五課・有馬憲康氏、検査企画課・大崎収氏より「効率化検査の結果から見る保守点検の留意点について」をテーマにご講演を頂いた。

令和二年から三年までの二か年における型式別の対応レベル0の結果と不具合内容、槽内水温と放流水量との関係、サカマキガイ生息による浄化槽の影響などの説明があつた。

検査結果をもとに、型式別に状況をまとめあり、今後管理士が行う保守点検の留意点から見る保守点検の留意点について」という議題で、型式別の不具合内容の紹介と対応レベルごとに対処方法を事例の写真を示しながら説明を受けるとともに、行政指導対象の改善状況などについて講演を行つた。

また、十一月四日、ホテル

パームロイヤル那覇において、大島北・南プロック合

同でビジネス版LINEの「LINE WORKS」の活用について研修を行つた。良好なコミュニケーションを図るために業務の効率化に向けた情報の共有・周知、業務管理、ファイ

ル管理等について学んだ。

令和四年七月二日、奄美文化センターにてクボタ浄化槽(株)から川越英樹係長を講師にお招きし管理士二名・検査員二名が参加して「効率化検査の結果から見る保守点検の留意点について」という内容で公益財団法人鹿児島県環境保全協会大研修室にて「南薩・熊毛プロック研修会を開催した。

まず、公益財団法人鹿児

島県環境保全協会・事務局長・牧浩一氏より「浄化槽整備に関する課題について」という議題で、浄化槽設置時の不具合事例の紹介、型別BOD超過率、住民の浄化槽維持管理費用負担における課題、間欠タイマーを利用したサカマキガイ対策などについて説明をいただいた。

続いて、同協会の検査五課・有馬憲康氏、検査企画課・大崎収氏より「効率化検査の結果から見る保守点検の留意点について」をテーマにご講演を頂いた。

令和二年から三年までの二か年における型式別の対応レベル0の結果と不具合内容、槽内水温と放流水量との関係、サカマキガイ生息による浄化槽の影響などの説明があつた。

検査結果をもとに、型式別に状況をまとめあり、今後管理士が行う保守点検の留意点から見る保守点検の留意点について」という議題で、型式別の不具合内容の紹介と対応レベルごとに対処方法を事例の写真を示しながら説明を受けるとともに、行政指導対象の改善状況などについて講演を行つた。

また、十一月四日、ホテル

パームロイヤル那覇において、大島北・南プロック合

同でビジネス版LINEの「LINE WORKS」の活用について研修を行つた。良好なコミュニケーションを図るために業務の効率化に向けた情報の共有・周知、業務管理、ファイ

ル管理等について学んだ。

美しい水を守る

フジクリーン工業株式会社

鹿児島 営業所 〒890-0072 鹿児島市新栄町25番8号
鹿屋 営業所 〒893-0023 鹿屋市笠之原町1561-2
川 内 営業所 〒895-0044 薩摩川内市青山町4219番地1

福岡支店 〒812-0016

福岡市博多区博多駅南4丁目2番10号
TEL 092-441-0222 FAX 092-441-0252
TEL 099-257-3501 FAX 099-257-3590
TEL 0994-43-4437 FAX 0994-43-2710
TEL 0996-27-2905 FAX 0996-27-2915

企画広報委員会報告
委員長 徳永博光

技術管理委員会報告
委員長 渡田秀之

◆ 健康づくり
研修会報告

◆ アンガーマネジメント
研修報告

◆ 青年部の活動報告

編集後記

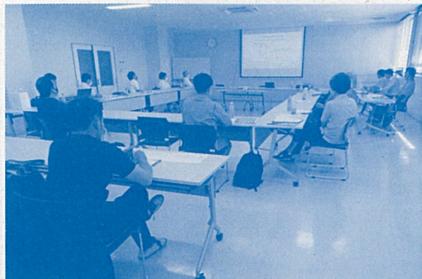
九月二十九日、環境保全協会研修室にて、第一回企画広報委員会を開催した。まず、「ミズスマシ令和五年一月号」の編集について、記事の内容と担当の確認を行った。

次に、組合からの情報発信について、組合から的情報発信について、鹿環協や会員の取組を、地域住民の皆様にさらにアピールすることが必要であり組合情報誌「みずすまし」の一般公開やホームページの情報を充実していくことを確認した。

また、組合員向けに、目まぐるしい社会情勢の変化や業界を取り巻く情勢の変化、急速に進歩する浄化槽技術への対応など、組合員間で迅速な情報共有を行っていく必要がある中、コ

ミュニケーションツールを導入して組合員間の情報共有やコミュニケーションを図ることとしている。その主な機能は、
①トーキ機能、「チャット」や「ライン」のようなものでリアルタイムにメッセージのやり取りをする。
②ファイルの管理、様々な情報のファイルを共有し最新のデータにして記載する。
③スケジュール管理、鹿環協の予定や組合員との共用も可能になるアクセス制限も可能になる。

今後、我々の業界もデジタル化やIT化が進展していく中で、情報の活用、さらにはデータとデジタル化技術を活用して組織、プロセス等を改革し、優位性を確立していきたい。



▲技術管理委員会の状況

▶研修会の様子
(講師:柳田豊氏)



▲研修会の状況



▲研修会の様子

八月三十日、環境保全協会研修室にて、第一回技術管理委員会を開催した。

第二十九回浄化槽維持管理技術研修会の講演内容について最終的な協議を行うとともに、役割分担を決め、今年度も懇親会は開催しないこと、来賓にも案内しないことなどを確認した。

また、株大隅衛生曾於の桙井聰司専務から、浄化槽維持管理料金の積算に係る主な条件や算定根拠など考え方の説明を受けた。

次に、環境保全協会による令和三年度のレベル0発生状況解析結果を踏まえ、性能評価型浄化槽の適正な維持管理に係る組合の自主基準案(点検回数緩和条件)の策定に向けて意見交換を行った。

委員会の中で、組合で構築中のコミュニケーションツールを活用して、管理士同士が成功体験を共有できるような仕組み作りを行う必要があるとの意見も出た。

三名が参加して行われたゴルフコンペでは、二十一名が参加して行われた垂水巡回衛生社の下ノ堀英治氏の優勝で幕を閉じた。

ミニ研修として、Active Resorts 霧島に会場を移し、「日常生活の中での健康づくり」という題材で、鹿児島県健康づくり運動指導者協議会会長の柳田豊氏に講演をいたしました。研修は、腰痛で悩んでいる人が多い我々業界にとって、非常に参考になるもので、研修終了後も質問が絶えなかつた。

認知症予防・肥満予防・正しい姿勢の維持を意識しが絶えなかつた。

過去の話題を持ち出されない」「その時々で言うことを変えない」ことなどが大事との講義があつた。

今後の業務、コミュニケーションに役立つ有意義な研修であつた。

青年部作業部会は組合各委員会に関連した作業活動を行い組合活動の一翼を担うことを目的として活動しています。

また、その活動を通して会員のより一層のレベルアップを目指しています。

他団体との交流は全国環境連青年会や鹿児島県中小団体中央会青年部の研修会等に参加し意見交換など交流を行っています。

今後とも鹿環協青年部を上げます。

(青年部会長 桙井聰司)

十月二十七日、「健康づくり研修会」が、霧島ゴルフクラブ及びActive Resorts 露島にて行われた。大隅プロツクが幹事のもと、三年ぶりの開催となつた。

健康づくりとして行われたゴルフコンペでは、二十一名が参加して行われた垂水巡回衛生社の下ノ堀英

治氏の優勝で幕を閉じた。

ミニ研修として、Active Resorts 露島に会場を移し、「日常生活の中での健康づくり」という題材で、鹿児島県健康づくり運動指導者協議会会長の柳田豊氏に講演をいたしました。研修は、腰痛で悩んでいる人が多い我々業界にとって、非常に参考になるもので、研修終了後も質問が絶えなかつた。

過去の話題を持ち出されない」「その時々で言うことを変えない」ことなどが大事との講義があつた。

今後の業務、コミュニケーションに役立つ有意義な研修であつた。

青年部作業部会は組合各委員会に関連した作業活動を行い組合活動の一翼を担うことを目的として活動しています。

また、その活動を通して会員のより一層のレベルアップを目指しています。

他団体との交流は全国環境連青年会や鹿児島県中小団体中央会青年部の研修会等に参加し意見交換など交流を行っています。

今後とも鹿環協青年部を上げます。

九月六日、組合の活動方針に掲げる「経営環境の整備充実」「人材育成」の一環として、有AEメディカルの田之頭智子氏を講師に招いて、「部下と良好なコミュニケーションを取るためのアンガーマネジメント」のテーマで研修を実施しました。

講義においては、問題となるのは「強度が高い」「持続性がある」「頻度が高い」攻撃性がある」怒りで、私たちは怒らせるものの正体、怒りが生まれるメカニズム、思考のコントロールなどの説明がありました。その後、悪い叱り方は「機嫌でござる」「人格攻撃」「感情をぶつける」ことで、上手な怒り方は「自分のリクエストをシンプルに明確に伝える」との講義があつた。

今後の業務、コミュニケーションに役立つ有意義な研修であつた。

青年部作業部会は組合各委員会に関連した作業活動を行い組合活動の一翼を担うことを目的として活動しています。

また、その活動を通して会員のより一層のレベルアップを目指しています。

他団体との交流は全国環境連青年会や鹿児島県中小団体中央会青年部の研修会等に参加し意見交換など交流を行っています。

今後とも鹿環協青年部を上げます。

鹿児島県環境整備事業協同組合青年部会は組合の中核組織として次代の衛生業界を担うため会員相互の団結を深めよりよき「人づくり」を目的として様々な活動を行っています。

現在の会員数は四十五歳以上の特別会員が十五名、正会員が十九名の計三十四名となっています。定例会は青年部会員間の情報交換・専門の講師を招いての講演・視察研修などを年に三回開催しています。定例会は青年部主管勉強会「青年部作業部会」「他団体との交流」を行っています。定例会は青年部会員間の情報交換・専門の講師を招いての講演・視察研修などを年に三回開催しています。定例会は青年部主管勉強会は各種業務に特化した内容及び今後予測される問題点などを継続的に勉強し意見交換を行う場として、青年部会員にとらわれず参加できる勉強会として青年部主管で不定期に複数回開催しています。

青年部作業部会は組合各委員会に関連した作業活動を行い組合活動の一翼を担うことを目的として活動しています。

また、その活動を通して会員のより一層のレベルアップを目指しています。

他団体との交流は全国環境連青年会や鹿児島県中小団体中央会青年部の研修会等に参加し意見交換など交流を行っています。

今後とも鹿環協青年部を上げます。

二〇一九年の新型コロナウイルス感染症の発生は、世界的な健康危機を引き起こし、私たちの世界と日常生活の認識に大きな影響を及ぼしました。すべての経済セクターは、グローバルサプライチェーンの混乱、輸入品やサービスに対する需要の減少、国際および観光の減少、出張の減少、そしてほとんどの企業が閉鎖され、何百万もの雇用が失われました。

場合これら組み合わせの影響を受けています。多くの企業が閉鎖され、何百万もの雇用が失われました。

パンデミックとウクライナの戦争が幅広い輸入品のコストを押し上げたため、円安は特に問題となっていました。

パンデミックとウクライナの戦争が幅広い輸入品のコストを押し上げたため、円安は特に問題となっていました。

パンデミックとウクライナの戦争が幅広い輸入品のコストを押し上げたため、円安は特に問題となっていました。

パンデミックとウクライナの戦争が幅広い輸入品のコストを押し上げたため、円安は特に問題となっていました。

パンデミックとウクライナの戦争が幅広い輸入品のコストを押し上げたため、円安は特に問題となっていました。

パンデミックとウクライナの戦争が幅広い輸入品のコストを押し上げたため、円安は特に問題となっていました。

パンデミックとウクライナの戦争が幅広い輸入品のコストを押し上げたため、円安は特に問題となっていました。

パンデミックとウクライナの戦争が幅広い輸入品のコストを押し上げたため、円安は特に問題となっていました。

パンデミックとウクライナの戦争が幅広い輸入品のコストを押し上げたため、円安は特に問題となっていました。

パンデミックとウクライナの戦争が幅広い輸入品のコストを押し上げたため、円安は特に問題となっていました。